公益社団法人 披害者サポートセンターおかやま

第12号

2017年1月1日発行

VSCO (Victim Support Center Okayama) 機関誌



安全安心に暮らしていくことができる 社会の実現に向けて

一般社団法人 岡山経済同友会 代表幹事 松田 久

- 両備ホールディング株式会社 代表取締役社長 松田 ク

公益社団法人被害者サポートセンターおかやま(VSCO)は、犯罪被害者やご家族の早期援助団体として被害直後から直接的な支援や相談業務に当たられており、被害者やその家族の立場に立った取り組みを実践されておられます。

VSCOのホームページを開けると「VSCOの支援を受けて」のコーナーがあります。そこには被害にあった方々の声、遺族の方々の声が多く寄せられていますが、突然襲ってくる暴力に家族が犠牲になり、残されたご遺族が混乱に陥られ深い悲しみに包まれて一生悩み続けなければならない多くの事例が記されています。

特に性被害事件については、100人のうち4人、実に4%しか警察に相談する人がいないとお聞きし、その低い数値には心底驚いています。家族・知人・先生に相談する人を含めても30%、人に言えないほどの苦痛を心に秘めて一人で悩み廃人同然になる人もいると聞きました。これは性被害を受けることは恥ずかしいことと思う日本社会の風土が原因のようですが、あまりにも重大な問題なので、もっと多くの人がこのことを知らなければならないと思います。

また、性犯罪ばかりでなく DV、ストーカー、殺人、傷害、交通事故、その他多くの犯罪がありますが、被害者の家族、遺族が抱えている計ることができない悲しみは想像を絶するものです。

被害者の皆さんが心を開いて直ぐに相談に乗ってくれる VSCO があることは心強いわけですが、知らなければ誰にも相談できずに一人で悩み悲しみを抱えたまま生活していかなければなりません。 VSCO を支える応援者をもっと増やして、誰でもが知っている被害者支援団体にならなければならないと存じます。

私どもは民間企業が集う団体ですが、従業員やご家族がいつ何時このような痛ましい事件・犯罪に巻き込まれないとも限りません。被害に遭わないことが大前提でありますが、もしもの時には VSCO がそばにいてくれるということを知っていなければならないと思います。そして被害に遭われた方々が一刻も早く再び力強く生きていく力を取り戻され、安全安心に暮らしていくことができる社会の実現に向けて一層のご協力をお約束したいと存じます。

●●●●●●●VSCOこの1年のあゆみ(事業報告)

2016年1月~2016年12月

	2016年1月~2016年12月						
事 業 名	実 施 内 容						
電話面接・直接 支援など	最近は特に、性的被害の相談が多くなっており、こうした状況に対応するために、7月27日「性犯罪被害者等支援センターおかやま」を立ち上げ、性犯罪被害に特化した電話相談室と専用電話を設置しました。						
支援員の養成と 支援体制	基礎講座は、5月から7月まで6回実施、73名(大学生64名、一般9名)が受講。中級講座は7月から10月まで6回実施、8名が受講し、最終の講座修了者は7名でした。また、性犯罪被害相談員養成研修を5月・6月に6回実施。12月31日現在の支援体制は、犯罪被害相談員7名、性被害等相談員8名、犯罪被害者等給付金申請補助員3名、電話・面接相談員26名、直接支援員22名、自助グループ支援員3名、事務局職員5名となっています。						
研 修	全国被害者支援ネットワーク主催の全国研修会や中四国ブロック研修会に参加したほか、 VSCO独自の継続研修として、月1回、事例に基づき、支援のあり方等について、研修し ました。						
広報・啓発	機関誌の発行 1月に機関誌「いつでもそばに」第11号を4,000部発行し、会員等へ業務内容、活動状況等の報告を行うとともに、フォーラム等の参加者に配布し、VSCOのPRを行いました。また、ファンドレイジング(財政基盤強化)活動にも活用しました。 「いのちと魂のメッセージ」のパネル展 市民のつどい、フォーラム、官公庁のロビー等で開催し、被害者の声を発信しました。						
	フォーラムの開催						
	(1) 岡山県警委託事業						
	① 1月 23 日(土)玉野市総合保健福祉センター 参加者 145 名						
	基調講演 「支えられて、今」 講師 大崎 利章氏						
	シンポジウム 「被害者支援について」						
	パネリスト 殺人・放火事件被害者遺族 大崎 利章氏						
	V S C O 代表理事 平松 敏男						
	│						
	演奏 岡山県警察音楽隊						
	② 10月15日(土) 倉敷市環境交流スクエア 参加者53名						
	基調講演 「犯罪被害者と隣人」 講師 川名 壮志氏(毎日新聞千葉支局記者)						
	(2) 岡山市との共催事業						
	7月9日(土) 岡山市地域ケア総合推進センター 参加者 70名						
	基調講演 「性犯罪被害にあうということ」 講師 小林 美佳氏						
	シンポジウム「性被害者への支援						
	パネリスト 被害者 小林 美佳氏						
	岡山中央病院副院長・産婦人科医金重惠美子氏						
	VSCO犯罪被害相談員 難波 光						
	マラン フェーディネーター VSCO代表理事 平松 敏男						
	(3) 岡山県委託事業						
	11月19日(土) 倉敷中央病院大原記念ホール 参加者 87名						
	基調講演 「娘を殺されて〜当時から今日までを振り返って〜」						
	講師 荻野 美奈子氏(殺人放火事件被害者遺族)						
	ミニコンサート 盲目の歌手 シンガーソングライター 武川浩昭氏						
	(夫婦でデュエット)						
	情報の発信						
	① ホームページで、「今日のVSCOは?」で最新の情報を発信しています。						
	② フォーラムの開催案内をしています。③ 「性犯罪被害にあった時・・・ひとりで悩まないで」のポスター・リーフレット・カード						
	③ 性犯罪被害にあった時・・・ひとりで悩まないで」のポスター・リーフレット・カード を配布して性犯罪被害者等相談専用電話の案内をしています。						
	で 川川 しく						

募金活動	岡山県共同募金会の「テーマ募金」で「地域から孤立をなくそう」ささえあいプロジェクトを実施しました。この募金活動で、目標額 200 万円に対し 121 件、2,488,262 円の募金をいただきました。共同募金会からマッチングギフトを加え、288 万円の助成金となり、主に「性犯罪被害者等支援センターおかやま」の立ち上げと運営費に使わせていただいています。また、店舗、病院、企業等に募金箱を設置し、募金に協力していただきました。
自販機の設置	犯罪被害者支援自動販売機の設置を呼びかけ、12 月 31 日現在 87 か所に設置しています(10 頁参照)
助成事業の実施	日本財団の預保納付金助成事業として、①犯罪被害者支援団体の自立に向けた基盤づくり事業、②業務拡充のための施設・資機材を整備する取り組み、③犯罪被害者を支える人づくり事業を実施しました。その結果、ファンドレイザー(2名)を雇用し、正会員、賛助会員を新たに獲得し、寄付型自動販売機も増設することができました。また、支援活動の推進とファンドレイズ活動のための車両(小型ミニバンタイプ)の購入と「性犯罪被害者等支援センターおかやま」の開設、常勤の犯罪被害者相談に精通した事務担当者も配置することができました。

2016 年度総会の開催

6月25日、岡山市北区平和町の「後楽ホテル」で、2016年度定時社員総会を開催しました。2015年度事業報告を行い、同 年度決算書(貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録)が承認されました。また、7名の理事及び1名の監事が選任され ました。

- 選任された理事 嶋村 稔、若林久義、東 隆司、森 陽子、中島豊爾、真邉和美、難波 光 **監事** 森本治雄
- 〇 感謝状の贈呈

正会員歴 10年以上の個人及び法人 19名、1団体

賛助会員歴 10 年以上の個人 12名 多額寄付者の個人 2名

- 2015 年度収支報告書(概要)
 - (収入) 正会員及び賛助会員からの会費、地方公共団体からの補助金・負担金、地方公共団体からの委託費、民間助成金、寄 付金、募金等合計 20.900 千円
 - (支出)相談事業費、直接支援事業費、相談員等養成研修事業費、広報啓発事業費、管理費等合計 21,065 千円。 当期収支差額は△165千円で、これは前年度繰越金を充てた。
- 2016 年度事業計画(重点目標)

2016年度は、公益法人となって4年目であるので、次の諸点を重点目標として、特色ある活動を行う。

- (1) 犯罪被害者支援のための活動を常時多面的かつ総合的に展開する。(2) 関係機関との連携を深める。
- (3)地域の総合力を生かした活動を展開する。(4)性犯罪被害者支援センター事業に取り組む。(5)財政基盤を確立強化する。

基調講演

演題 「被害少年の支援について」

講師 岡山県警生活安全部少年課 岡山少年サポートセンター 少年補導員 下岡 真弓氏

○ 平成 28 年度の役員等

※ 社員総会後の理事会において、業務執行理事として、嶋村稔、難波光が選定されました。

2015年度収支報告書(概要)

(異母・エ田)

顧問	村田吉隆 岡崎 彬 菅波 茂 皆木英也	(元国務大臣・犯罪被害者等施策担当) (岡山商工会議所会頭) (AMDA 代表) (公益財団法人岡山県暴力追放運動推進センター元専務理事)			
代表理事	平松敏男				
業務執行理事	天野勝昭	嶋村 稔 難波 光			
理事	若林久義	東 隆司 森 陽子 中島豊爾 真邉和美			
監 事	森本治雄				
事務局長	山﨑悦子				

支援員 31 名	性被害等相談員8名	(2016.12.31

		(単位:千円)
会費	(正会員・賛助会員)	2,770
地方	公共団体補助金	1,560
民間	助成金	7,647
地方	公共団体委託費	6,574
寄付	·金	2,212
雑収	益	137
	経常収益合計	20,900
妥	相談事業	8,271
<u>金</u> 目	直接的支援事業	2,422
公益目的事	養成・研修事業	2,369
業	広報啓発事業	3,855
管理	費等	4,148
	経常費用合計	21,065
	当期収支差額	△ 165

現在)

急がれる性犯罪・性暴力被害者に対する理解と支援!

- 性暴力・性犯罪とは
- (1) 性暴力とは「本人が望んでおらず、断りにくい状況でなされた性的な言動すべて」を指します。
- (2) 性犯罪とは、性暴力による被害のうち、法律・条例等に違反する犯罪行為をいいます。
 - ① 刑法(**強姦・強制わいせつ**等)
 - ② 児童福祉法違反(18歳未満の児童に対し父親・教諭・塾講師・スポーツの**指導者が、その支配 的地位や事実上の影響力を利用して**淫行すること)
 - ③ 児童ポルノ法違反 (写真・ネット等で児童の姿態を描写し性欲を興奮させたり刺激するもの)
 - ④ 迷惑防止条例違反(盗撮·痴漢等)
 - ⑤ **青少年健全育成条例違反**(18歳未満の者とのみだらな性交等)

● VSCO が行った性被害者の支援



電話相談

Aさんは、岡山県内の大学で学ぶため、親元を離れ、アパートでひとり暮らしをしていました。そこで、レイプ被害に遭いました。恐怖と不安で、眠れない、食べられない、フラッシュバックを起こす等の症状で通学ができなくなりました。事件のあった部屋では生活できず、友人宅を転々とする生活を送っていましたが、VSCOの支援で、卒業まで公営住宅を確保できました。

また、精神科の受診費用、薬代、交通費が必要となり、親にも相談できずに困っていましたが、A さんは、「VSCO の犯罪被害者支援金」を利用して受診することができました。受診の際には毎回、支援員が付き添いました。大学に通えなくなった A さんのため、支援員は、大学に特別の配慮をお願いに行きました。徐々に元気を取り戻し、無事大学を卒業し、地元で就職することができました。



Bさんは、夜、知らない男に自宅に侵入され、レイプ被害に遭いました。警察に届け出ましたが、犯人が捕まっていないので、また被害を受けるのではないかと心配です。VSCOは、「全国ネットワークの緊急支援金」の申請手続きをし、その支援金を転居費用にあてることができました。



病院への付き添い

3歳の男児Cくんは、ショッピングセンターでわいせつ行為を受け、加害者は逮捕されました。加害者に顔を見られたくないCくんの両親に代わって、VSCO支援員が、刑事裁判の代理傍聴を行い、裁判の結果を説明するとともに、今後のことを不安に思う両親に、被害者の心理についての説明を行いました。

高校生のDさんは、養護教諭からの連絡でVSCOにつながりました。知り合いからレイプ被害を受け、親にも警察にも言いたくないけれど、妊娠・性感染症が心配でした。被害後72時間以内であったので、産婦人科医院にVSCO支援員が付き添い、「VSCOの性犯罪被害者のための緊急支援金」を利用して、緊急避妊薬を飲み、性感染症の検査もしました。異常なしの結果に安心したDさんは、その後も通学ができています。

Eさん夫婦は、アパートで暮らしていました。夫がいない夜、性被害(強制わいせつ)に遭い、ショックを受けてひとりで実家に帰ってしまいました。怖くて、その町に住めなくなったからです。夫と離れて暮らすようになったEさんは、ふがいない自分、被害を受けて変わってしまった自分が許せないと悩んでいました。ネットで探して、VSCOに電話をかけてきました。泣きながら、ぽつぽつ、自分の気持ちを語りました。「誰にも相談できませんでした。気持ちをわかってもらって良かった」と、言って電話を切りました。

このように、何年も誰にも相談できずに**ひとりで悩んでいる性被害者はとても多い**のです。

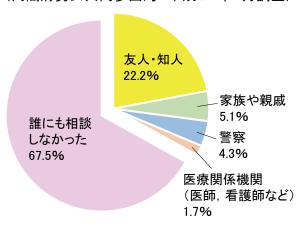
Fさんは、夫の友人から強制わいせつ致傷の被害を受けました。加害者が捕まり、裁判員裁判になり、裁判で意見陳述を行うことにしました。VSCO支援員は、意見陳述書作成のお手伝いをしました。また、証人として証言を行うときは、遮へいをしてもらい、傍聴席から見えないようにしてもらいました。不眠・食欲不振があったため、「VSCO の犯罪被害者支援金」を利用して、精神科を受診しました。受診や警察・検事の事情聴取、裁判の時も VSCO 支援員が付き添い、子どもさんの世話もしました。



警察への付き添い

● 誰にも相談していない性被害者の数は約 70%

性犯罪・性暴力についての相談先 (内閣府男女共同参画局 平成24年4月調査)



- **性被害者が誰にも相談しない理由** (内閣府男女参画局の調査)
- ①恥ずかしくて誰にも相談できなかった。

46.2%

②そのことについて思い出したくなかった

[22.0%]

- ③自分さえ我慢すればなんとかこのままやっていけると思ったから 【20.9%】
- ④どこ(誰に)相談してよいか分からなかった

[17.8%]

⑤相談しても無駄だと思った

[16.5%]

⑥自分にも悪いことがあったと思ったから

16.5%

● VSCO の全相談の約6割が性犯罪・性暴力に関する相談 (VSCO の平成28年1月から12月まで、11頁2相談の内訳参照)

● 性犯罪・性暴力被害者の症状は深刻・重篤

ある日突然何の前触れもなく、同じ社会に住む人間から理不尽に一方的に、健康な体を傷つけられたり、大切な家族の生命を奪われる衝撃は、次のように被害者に想像を超える大きなダメージを与えています。

① 人に対する不信感

人が信じられなくなるため**人間関係**がうまくいかなくなったり、新たな関係を築くことができなくなります。

② 社会に対する安心感・安全感の喪失

社会への安心感・安全感も失ってしまい、いつまた犯罪被害に遭うか分からないという漠然と した不安を抱えいつも緊張しているため、**普通に暮らすだけで疲れ果ててしまいます**。

③ 価値観(見方・考え方)の変化

価値観も根底から変わってしまうため、今まで生きてきた意味も見いだせなくなり、**将来への夢や希望を持つこともできなくなってしまいます**。

④ 司法(警察・検察・裁判所・弁護士)に対する不信感

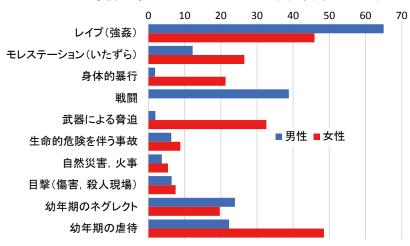
今までの生活では無縁だった**警察や司法とのかかわり**も出てきます。被害者には被害直後から司法の専門家が付くわけではありません。そのため、「加害者を厳しく罰してほしい。犯した罪に応じた罰を与えてくれるはずだ」と信じて、苦しい中必死で事情聴取に応じたにもかかわらず、加害者には多くの権利があり守られている現実ばかりを目の当たりにし、国や司法から裏切られたという思いを強くしていきます。

⑤ 脳に対する影響

大きな衝撃を受けて**記憶をつかさどる海馬(脳組織)が傷つく**ため、記憶力や集中力も減退し被害前と同じようには**仕事ができなく**なります。そのため仕事をやめざるを得なくなり、**経済的にも困窮**します。自営業の人であればその日から収入はなくなります。

● 性犯罪被害者が PTSD (心的外傷ストレス障害) になる割合 は戦闘・震災被害より多い

PTSD発症率 (Kesslerらによる全米疫学調査1995年)



● 性犯罪・性暴力被害の症状は 長く続く

影響は長年にわたり続き、その後 の人生にも大きな影響を与えます。

小さい頃、性被害を受けた被害者が60代になってもそのことを忘れられないと、VSCOに電話してきました。

小学校3年生のときに身内から わいせつ行為をされた被害者が、 思春期になって初めて、小学生の ときのことを思い出し、恐怖心で 恋愛ができませんでした。

● 強姦、強制わいせつで裁判するには、被害者の告訴が必要

強姦、強制わいせつで裁判をするには、被害者の告訴が必要です。VSCO でお手伝いもできます。

● 警察・検察庁の取調べや裁判では、性犯罪被害者の名前・住所は明らかにされない

警察・検察庁も**性犯罪被害者の名前や住所は公表しません**。また、裁判になっても性被害者の名前・住所等は明らかにされません(秘匿)。万が一裁判所に行くことになっても、衝立で顔や体などが見られないようにできますし(遮蔽措置)、別の部屋で顔が見られないように映像と音声をモニターできる装置で証言することもできます(テレビリンク措置)。

● 性犯罪裁判の判決と性犯罪被害者に対する影響

裁判で判決してもらうことも回復への一歩です。性犯罪・性暴力被害者のうち裁判になったほとんどの方が、「裁判で自分は悪くない、犯人が悪いことが証明できてよかった」、「一つの区切りができた」と言われています。

● 性被害にあったときは、原則 72 時間以内に産婦人科で受診を

被害後 **72 時間以内**に女性ホルモン製剤(アフターピル、緊急避妊ピル等) を服用することにより高い確率で避妊することができます。120 時間までであれば避妊も期待できます。**性感染症**(梅毒、エイズ、淋病、クラミジア、B型肝炎、ヘルペス等)の感染を防ぐためにも、被害後できるだけ早く産婦人科で受診することをおすすめします。VSCOの支援員が病院に付き添いをすることもできます。

● 性被害後は、証拠品の確保を

将来、証拠品がなくなったことによる後悔(犯人が分からなくなる、被害を受けたことや自分が被害者であることの証明ができない、裁判をしたくてもできない。被害者が悪くないことを証明する証拠がなくなる等)をしないために、証拠品(精液、膣内容物、皮膚等の組織片、毛髪、唾液、血液、衣服等の組織片)を保管しておくことが必要です。

①シャワーを浴びたり、風呂に入らない ②衣服は着ているものを捨てずに1個づつナイロン袋にいれて置く ③犯人が触ったものはそのまま保存し、拭かない

防ぎたい二次被害

二次被害とは、犯人・加害者からではなく、被害者が被害の後に周囲からのさまざまな言動によって、さらに傷付けられる状態(被害)をいいます。

- ①**友人・知人の言動**や近隣の人の**うわさや中傷**、配慮に欠ける職場環境や**偏見による解雇**等
- ②メディアの過剰な取材等
- ③捜査、公判等の過程における配慮に欠ける対応等
- ④司法解剖
- ⑤家族間の不和、虐待、養育放棄、生活の困窮、経済的困窮、住む家がない等
- ⑥司法関係者の配慮に欠ける対応や言動、更生保護制度の不備等
- ⑦相談窓口の不適切な対応や言動・制度の不備等

性犯罪被害者等支援センターおかやまの設置

平成28年7月27日、性犯罪の被害にあわれた方やそのご家族のために、「性犯罪被害者等支援センターおかやま」を設置しました。専用の相談電話を開設し、専門の相談員が相談に応じます。





フォーラム(平成 28 年 1 月~ 12 月)

亡き母との約束を今も守っている息子たち

岡山県警察本部との共催で「犯罪被害者等支援フォーラム」 玉野市総合保健福祉センター 1/2

殺人・放火事件被害者遺族の大崎利章さんが、「支えられて、今」という講演を行いました。大崎さんは、 平成22年、実の弟に奥様を殺害され、中学2年と小学1年の2人の息子たちも同じナイフで傷つけられ 大けがをしました。また、自宅も放火されました。 目の前で母親を殺された子供たちの心身の傷も深く、 その後の生活も大変でした。大崎さんの苦悩と、被 害者支援の重要性についてお聴きしました。

岡山県警察音楽隊の演奏もありました。

(支援員: I)



社会に求められる被害者への理解 - 被害者の苦しみと早期支援 -

岡山市との共催で「犯罪被害を考える市民のつどい」 岡山市地域ケア総合推進センター 7/9

小林美佳さんは、「**性犯罪被害にあうということ」・「性犯罪被害とたたかうということ」**の2冊の著者です。 また、日本では初めて本名と写真を公開し、1万人にのぼる性被害者とメールなどで交流をしています。

小林さんは、2000 年、職場からの帰り、見知らぬ男 2 人にレイプされました。事件後、被害に遭った場所に近づこうとすると、吐いたり倒れたりします。周囲に被害のことは話せず、やっと打ち明けた母親には、「誰にも話すんじゃないよ」と言われ、兄弟は犯人に対して怒るだけでした。美佳さんは、「誰も、わかってくれない」と、孤独を感じたそうです。そんなときに、性被害にあった人達とネットでつながることができました。そこで知り合った多くの被害者は、「被害に遭ったことを誰にも言えない」そして、「性被害者のことを理解して欲しい。理解しようとして欲しい」と、言います。

性被害者に対する理解とは何でしょうか。

小林さんは、被害に遭ってすぐある男性警察官に会いました。その時、彼は、小林さんを笑顔にするためだけに、自分の警察手帳に刑事ドラマの俳優の写真を貼ったそうです。その写真を見て、小林さんはふっと笑いました。「その気持ちがとても嬉しかった。事件にあって、他人も社会も信じられないという思いだったが、信じられる人がいるんだという気持ちになれた」と、小林さんは、語りました。マニュアルどおりでなく、自分が不利益を被ることもいとわず、ただただ、一途に被害者である小林さんを笑顔にしようとした男性警察官に、「家族は駄目だとしても、あの刑事さんは信じられる」と、感じたそうです。

性被害者のため、また、社会の安全・安心のためにも、性被害に対する理解を広げていかなくてはならないと感じさせられた講演でした。講演後、シンポジウムも行いました。 (支援員:I)



シンポジウム

「性被害者への支援 被害者・医療・支援センターの立場から」パネリスト 性犯罪被害者 **小林 美佳**氏 岡山中央病院副院長・産婦人科医 **金重惠美子**氏 VSCO犯罪被害相談員 **難波 光** コーディネーター VSCO代表理事 **平松 敏男**

「佐世保小6同級生殺人事件」から犯罪被害を考える

岡山県警察本部との共催で「犯罪被害者等支援フォーラム」 倉敷市環境交流スクエア (水島愛あいサロン) 10/1

2004年に佐世保市で起きた**小6同級生殺人事件**。被害少女と家族同然に接していた記者で、直属の上司が被害者の父となってしまった事件を報道し、事件後も少女の兄と関わり「謝るなら、いつでもおいで」を著した川名壮志さんが「犯罪被害者と隣人」というテーマで講演を行いました。

川名さんが講演で語ったポイントは、被害者支援で**兄弟姉妹が見過ごされがち**であるということと、他人である**第三者が被害者家族に関わる重要性**です。

被害少女より3歳年上だったお兄さんは、事件前に、加害者とトラブルがあったことを妹から相談を受けていました。自分が適切なアドバイスをできなかったのが事件の遠因ではと自分を責めてしまいます。報道が集中し憔悴していた父を見て、自分は泣いてはいけないと気持ちにフタをして、誰にも悩みを話すことができませんでした。高校は不登校の末中退、大学進学も遅れるなど、**事件の後遺症**に苦しみますが、お兄さんの話を聞きにきた人は誰もいなかったそうです。



お兄さんが 20歳になった時に話を聞きに行った川名さんは、家族同士だと遠慮があったり、傷をなめ合う関係になることもあり、他人にしか言えないことがあると知ります。また、話したい事があっても最初から上手に言葉にできないことがあるので、二度三度と会い信頼関係をつくるのも大事であること。無報酬で加害者の父に寄り添う加害者側弁護士がいたので、加害者から定期的に謝罪の手紙が届き、被害者の父が救われたことなどから、第三者が関わり支援することの重要性についても話されました。

川名さんの優しいお人柄にお兄さんも心を開いたのだろうと 思われたのと、加害者についてお兄さんが言った「怒っても取 り戻せるものは何もないから、(加害者には)普通に生きてほし い」という言葉が深く心に響いた講演でした。

(支援員:S)

突然 娘の命を奪われた母親の心境は ≪松戸女子大生殺害放火事件≫ 岡山県との共催で「犯罪被害者支援フォーラム in くらしき」 倉敷中央病院(大原記念ホール) 11/19

松戸女子大生殺害放火事件の被害者の母親、荻野美奈子さんが、「娘を殺されて〜当時から今日までを振り返って〜」という講演を行いました。2009年、荻野さんのお嬢さんの友花里さんは、加害者によって殺され、住んでいたアパートは放火されました。加害者は、強盗・強姦事件で7年間の服役を繰り返し(計14年間)、1カ月半前に出所したばかりの男でした。友花里さんの事件の前後にも多くの強盗致傷事件や強姦事件を重ねていました。裁判員裁判では、死刑判決が下されましたが、控訴審で無期懲役の判決となり、検察・弁護側双方上告の結果、上告棄却、無期懲役が確定しました。「死刑しかない」と思っていた家族にとっては納得できないことでした。



教員になる夢に向かって努力していた自慢のお嬢さんを無残に殺され、家族は、今も娘を守れなかった後悔や自責の念に苛まれています。友花里さんの62枚の写真は、活発で、利発で、可愛らしい姿でした。命ある限り友花里さんの無念の思いを話し続けると、荻野さんは結びました。 (支援員: M)

VSCOからのお願い

犯罪被害者支援自動販売機の設置にご協力ください

VSCOでは、関係各位のご協力により、VSCO支援自販機を設置していただいています。

自販機の設置により、設置者か ら、販売手数料の全部または一部 を寄付していただくものです。寄 付金は、犯罪被害に遭われた方や そのご家族、ご遺族の支援に充て られます。社会貢献の一環として、 この自販機を設置していただける 方や団体を募集しています。設置 を検討していただける場合は、V SCOの事務局へご連絡くださ 1,10







倉敷中央病院 (倉敷中央病院・倉敷アイビースクエア)



八島田トンネルIV作業所 (大本組・アイサワ工業・蜂谷工業)

自販機の設置か所は12月31日現在87か所です。 ※設置場所の名称は、設置順に記載

[自販機設置場所]

慈圭会慈圭病院売店、岡山県看護協会、(株)フジワラテクノアート、天野産業 (株)、備前自動車岡山教習所、備前自動車備前教習所、(株)岡田 商運(2台)、大本組・アイサワ工業・蜂谷工業 八島田トンネルJV作業所(2台)、手打ちうどん名玄(2台)、明光観光開発(有) 西の屋赤坂店、 (株)山陽メディアサプライズ ドコモショップ平井店、、(株)山陽メディアサプライズ ドコモショップ総社店、(株)山陽メディアサプライズ ドコモショップ津山店、(株)山陽メディアサプライズ ドコモショップ岡山瀬戸店、(有)西山建設商事 西山ファーム、(有)西の屋 西の屋湯郷 店、(株)西山組、明光観光開発(有)西の屋菊ヶ峠店、(有)西の屋 西の屋美作店、環太平洋大学(2台)、ナカシマプロペラ(株)、(株)ファ-ドイツの森、(株) セキュリティハウス、みのる産業 (株) (3台)、みのる化成 (株) (7台)、JX日鉱日石エネルギー (株)、エムシー・ファーティ コム (株) (4台)、LEAP JAPAN、学校法人加計学園 岡山理科大学(6台)、(株)大本組本社ビル(3台)、(株)大本組 ヤマザキマザック瀬戸 内作業所、モリマシナリー (株)、三菱自動車工業 (株)水島製作所、JFEスチール (株)、(株)JEI 吉備国際大学、倉敷マスカット自動車教習 所、小金井自動車学校(栃木県)、神戸西インター自動車学校、大本組エバルス岡山(2台)、新見自動車教習所、新相模湖自動車教習所(神奈川 県)、太秦自動車教習所(京都府)、上総自動車教習所(千葉県)、富士センチュリーモータースクール 裾野校(静岡県)、富士センチュリーモータ ースクール 御殿場校 (静岡県) 、倉敷中央病院・倉敷アイビースクエア 倉敷中央病院1 F 温室 (2台) 、アットパーク内山下駐車場、総社花萬(株) 総社セレモニーホール、総社花萬 (株) 総社セレモニーホール高松、総社花萬 (株) 総社セレモニーホール天原、JR伊部駅、福山城西病院 (広島 県)、(株)カレス(広島県)、サンコー印刷 (株)(2台)、大本組・蜂谷工業・小倉組 鹿田小学校工事現場、岡山西大寺病院、 (株)大本組 岡山労災 看護専門学校工事現場、(株)大本組 両備システムズ藤崎センター作業所、(有)宮本ストアー 新見公立大学

[協力ベンダー会社]

ヒカリエンタープライズ、ジャパンビバレジ、コカコーラウエスト、キリンビバックス、西日本ビバレッジ、サントリービバレッジ、ネオス、野 口商店、コーシン、スギノ、日東ベンディング、宮本ストアー

本で広がる支援の輪~ホンデリング~にご協力ください

不要になった書籍を、所定の申込書とともに、段ボール箱や紙袋にお詰めいただき、段ボ ール箱等の表面にVSCOのホームページからダウンロードした申込書を貼ってください。 (申込書は、VSCO 事務所から郵送することも出来ます。)

ただし、ISBNのない本、百科事典、個人出版本、雑誌は取り扱いできません。



バザー売上金寄付 (瀬戸南高等学校)



募金箱の設置をお願いします

店舗、病院、企業等にVSCOの募金箱を置かせてください。

12月31日現在、岡山県遊技協同組合の加盟店・病院・美容院・喫茶店等44か所に設置し ていただいています。

正会員・賛助会員になって、VSCO をサポートしてください

年会費は、次のとおりです。

正会員 個人 1口 10,000円 賛助会員 個人 1口 2,000 円 団体 1口 30,000円

10.000 円 団体 1口

被害者支援活動の実施状況

2016年1月~11月分

1電話相談

■相談件数(継続相談を含む) 476 (月平均 39.7)

面接相談

■相談件数(継続相談を含む) 25 (月平均 2.1)

■面接相談の端緒 ※4月から

電話相談後	22	他機関の要請	2
その他	1	計	25

2相談の内訳

■男女別相談件数(継続相談を含む)

男	132	女	369	不明	0	計	501
---	-----	---	-----	----	---	---	-----

■相談(被害)内容(継続相談を含む)※4月から

被害内容	件数	被害内容	件数
殺人・傷害致死	12	交通死亡事故	8
強盗 (致死傷)	0	交通事故	8
強姦	157	財産的被害	3
強制わいせつ	76	DV	27
その他の性暴力	5	ストーカー	18
暴行・傷害	74	虐待 (いじめ)	4
その他の身体犯	5	その他	103
危険運転致死傷	1	計	501

3紹介(件数)※4月から

岡山弁護士会	17	県消費生活センター	8
LA岡山	0	交通事故相談所	1
法テラス岡山地方事務所	3	その他の「おかやま」 被害者支援相談ネッ	1
精神科医	5	トワーク」加盟機関	1
臨床心理士	0	警察	12
県女性相談所	0	上記以外の機関	31
県中央児童相談所	1	計	79

4直接的支援関係(回数)

警察関連支援		行政窓口等付添		
被害届・告訴状の作成・提出		県女性相談所への連絡・付添い		
警察との連絡調整	20	県・市児童相談所への連絡・付添い	11	
警察への付き添い		関係機関連絡会議への出席と連携	11	
被害者連絡制度の利用		公営住宅等の確保等		
検察庁関連支援		引っ越し・住民票開示等		
検察庁との連絡調整		病院付添い		
検察庁への付き添い	11	病院(産婦人科医含む)紹介・付添	99	
被害者等通知制度の利用		エイズ検査への立会	99	
不起訴記録の開示		精神科医の紹介・付添い		
検察審査会への申立など		自宅訪問	1	
裁判関連支援		その他		
弁護士との連絡調整		法テラスへの付添い		
弁護士相談への付添い		仲裁センターへの付添い	9	
刑事裁判・審判への付き添い	127	マスコミ対応		
代理傍聴		その他		
意見陳述のサポート		自助グループ	15	
保護命令申立など		自助グループ開催	10	
合計 293				

5 犯給金等申請の補助(申請した件数)

犯罪被害者等の給付金申請のサポート	11
犯罪被害者遺児等に対する奨学金給付のサポート	0
まごころ奨学金申請のサポート	0

6 支援基金(支給した件数)

全国ネット被害者緊急支援金の給付	2
VSCO 犯罪被害者支援金の支給	13
VSCO 性犯罪被害者のための緊急支援金の支給	4

学生に広がる支援の輪

大学生 64 人が養成講座受講

若者が被害者支援の大切さを理解しボランティア活動を推進するシステムづくりのため、初めての試みで県内の大学生に受講を呼びかけたところ、山陽学園大学、環太平洋大学、美作大学、岡山商科大学、ノートルダム清心女子大学、岡山大学、川崎医療福祉大学の学生が基礎講座(全6回)を受講、うち48人に修了証書を交付しました。

これは、全国被害者支援ネットワーク所属のサポートセンターでは、日本初の試みです。 学生達からは、様々な感想が

学生達からは、様々な感想が 寄せられました。



〔模擬裁判〕

被害者になることは避けられないけど、加害者になることは避けられます。加害者を出さないために大学生だからこそできる活動をこれから行っていきたいと考えています。

犯罪がもたらすダメージの大きさを改めて感じさせられました。またそれと同時に、多くの人達が犯罪被害に遭われ、フラッシュバックなどといった二次被害に苦しんでいる現状を知りました。性被害はデリケートな問題なため、人に言いだしにくく、1人で抱えこんでいる方も多くいると思います。性被害専用の電話が設置されることで、1人で抱え込んで苦しむ人たちが、1人でも減ればいいなと思います。

実際に**交通事故**で被害に遭った被害者遺族の心情を初めて聞き、**非常に憤り**を感じました。 被害者の支援を全力でしたいと改めて思いました。

性犯罪という事件は被害に遭った女性を深く苦しめます。

でも、世間は偏見であふれていて、マスメディアによって**正しく理解されない**ことも多いです。 日本人全員の認知を改善させることは難しいですが、私を通じて私に関わる人を助け、私から偏った認知を少しずつ改善できていけたら良いなと、人生の目標が見つけられて良かったです。

> **教員を目指して**います。学校現場であれば、家庭と連携して、子どもを育むことを意識して将来、 仕事をしたいと改めて思いました。**児童虐待**という課題に、教員として出来ることは必ずあります。 早期発見に努めたり、家庭、教師間、関係機関との連携をしたりすることで、「子どもを守る」ことに努めたいと思いました。

殺人や傷害、強盗など事件の大きさによって、**慰謝料や損害賠償**の金額が変わってくるのだと知りました。また、これらに対して**未払いがある**というのは、本当に許せないと思いました。被害者側は、辛い気持ちの中、交通費を含め、多くの**経済負担**がのしかかるのは本当に辛いと思いました。

模擬裁判

6月18日、養成講座を受講している大学生を対象に**岡山商科大学の模擬法廷**(岡山市北区津島京町)で**模擬裁判**を行い、男女53人が参加しました。一部の大学生とVSCO支援員が、VSCO協力弁護士から起訴状朗読の仕方などの指導を受け、裁判官・裁判員・検察官などの役割を演じました。模擬裁判中は、VSCOの平松代表理事が、その都度、傍聴している学生に向けて、**裁判用語の解説**を行いました。

模擬裁判後、裁判官・裁判員役の学生、傍聴の学生で、討論を行いました。





とても貴重な体験をさせていただきました。被害者を守るため、希望があれば様々な工夫を**裁判所が行っている**ことを知りました。**どのように裁判が進んでいくのか**知ることができてよかったと思います。

私が目にするのはドラマの中でのワンシーンなので、この模擬裁判で初めて、裁判について詳しく知ることができました。被害者参加制度があることや、被害者参加する被害者の精神的な面を考えて、被害者が傍聴席から見えないようにするなど、裁判所で気配りをしてくれるのを知りました。私の中で、裁判所は少し冷たいイメージがあったので、余計にホッとしました。被害者の権利がしっかり守られているなと実感しました。

フォーラムで大学生ボランティアが司会

養成講座を受講した大学生が、VSCOのフォーラムで司会を行いました。



1/23 玉野市 岡山県警察本部との共催のフォーラ ムで

山陽学園大学の大学生

10/15 倉敷市 岡山県警察本部との共催のフォ ーラムで

ノートルダム清心女子大学 の大学生





11/19 倉敷市 岡山県との共催のフォーラムで **環太平洋大学の大学生**

公益社団法人被害者サポートセンターおかやま(VSCO) 会員名簿

(2016.12.31 現在 50音順 敬称略)

会員の皆様、いつもご支援ご協力ありがとうございます。今後とも宜しくお願い申し上げます。

正会員 【個人】

	++ =+ n+ =+ H
逢沢一郎	衆議院議員
阿部俊子	衆議院議員
天野勝昭	社会福祉法人三慶会理事
荒木信之	弁護士
安藤清和	会社役員
家野昌子	非常勤講師
石井正弘	参議院議員
石尾玲子	
板垣和彦	弁護士
板野次郎	弁護士
井田千津子	弁護士
出原陽平	看護師
井上志乃	
井上雅雄	弁護士
井上陽介	弁護士
上田紗英子	弁護士
宇高了介	(株) エイトコンサルタント(専務理事)
内田満里	
浦上雅彦	岡山市議会議員
江尻健二	農業
江田五月	元参議院議員
江見由香里	
大森一枝	
大藪順子	フォトジャーナリスト
奥田哲也	弁護士
小野静子	
及部たか子	うどん屋
加藤航平	弁護士
金光紗希	弁護士
桐野忠夫	地方公務員
久保智永子	
高祖日出夫	高祖酒造㈱代表取締役
小阪美穂子	主婦
作花知志	弁護士
嶋村 稔	
	会社員

菅形俊孝	備前焼窯元 天地窯
菅波 茂	AMDA グループ代表
陶浪保夫	弁護士
高井崇志	衆議院議員
高橋雄大	岡山市議会議員
高原勝哉	弁護士
高原俊彦	岡山県議会議員
髙山裕子	弁護士
田尻祐二	岡山市議会議員
田中紀章	
種田和英	弁護士
田淵浩介	弁護士
田村比呂志	弁護士
坪井一彦	社会福祉ボランティア士
津村啓介	衆議院議員
寺田和子	保健師
飛山美保	弁護士
富岡美佳	
中島豊爾	岡山県医療センター(理事長)
中野博史	
中原淑子	岡山市議会議員
中村純子	
鍋島千秋	
難波 光	
新谷恭二	株式会社リースキン岡山代表取締役
西野淑子	弁護士
萩原誠司	美作市長
橋本 岳	衆議院議員
播間友惠	主婦
日笠久栄	
東 隆司	弁護士
姫井由美子	元参議院議員
平井芳和	飲食店
平松敏男	弁護士
平松真紀	主婦
平松真澄	主婦

藤井秀孝	弁護士
藤井康功	柔道整復師
藤原一徳	団体職員
藤原恭子	
堀井茂男	慈圭病院 (院長)
前原幸夫	税理士
松村正基	会社員
松村守佑子	大正琴演奏者・みゆーじっくらいん琴友夢代表
松山正春	医師
真邉和美	女性問題アドバイザー
三木亮治	岡山市議会議員
水内淳一	
宮本美穂子	弁護士
三好英宏	弁護士
村田吉隆	元衆議院議員
室賀康史	室賀ネジ機工(株)代表取締役
森 陽子	心理カウンセラー
森田淳子	
森本治雄	税理士
森脇 正	弁護士
森脇久紀	岡山県議会議員
安田 寛	弁護士
山川博司	岡北ヤマカワ代表取締役
山﨑悦子	
山下貴司	衆議院議員
山本美津子	
山本諒平	弁護士
祐源伸康	平松法律事務所事務員
吉村充司	備前自動車教習所 代表取締役
若井たつ子	元岡山県議会議員
若林晶子	
若林久義	会社役員

以上の他に匿名希望25名、合計130名です。

正会員 【団体】

株式会社 小倉組 弁護士法人 菊池綜合法律事務所 株式会社 サンエイシステム

蜂谷工業	株式会社
株式会社	フジワラテクノアート

以上の5団体です。

賛助会員	【個
赤木泰之	
安藤稔枝	
池内俊介	
池本しおり	
石井光子	
井上ヒロ子	
猪木健二	
今井洋子	
井村 誠	
岩津安圀	
江尻美恵子	
延堂雅弘	
大川邦子	
大熊公平	
大熊昌子	
大角昌子	
太田垣弘枝	
大森恵子	
大森啓一郎	

U
大森正晴
大森葉子
岡田明子
小野富貴子
笠原孝子
片山和良
片山幸子
川上章義
河端武史
苅田 實
木口兵衛
木下泰子
日下知子
窪津 誠
熊代哲士
黒瀬治樹
蔵野美佐子
桑田優子
桑田優子

小泉金吾 小林清次 崎本敏子 佐藤悦子 佐藤圭子 佐藤百合香
崎本敏子 佐藤悦子 佐藤圭子 佐藤百合香
佐藤悦子 佐藤圭子 佐藤百合香
佐藤圭子 佐藤百合香
佐藤百合香
加田士フ
沢田直子
沢田穂積
芝田正剛
嶋村洋子
白川智久
神土純子
菅形基道
杉山奉文
鈴木正二
妹尾さくら子
高橋 茂
高橋吉保
高原佳代子

高山憲三
寺田加代子
長尾八重子
中川佳子
長崎 司
永瀬隆一
中塚多聞
中原富二雄
永見芳子
中山淳子
中山正汎
中山美恵子
難波賀惠
仁木 壯
西村卓代
野中 武
花田雅行
林 鶴市
日笠 栄
1

平田祥之	
平部一美	
平松泰江	
藤井惠子	
藤田紀美子	
藤原忠文	
藤原悠紀子	
船越利彦	
船田幸枝	
本城宏一	
正木さわ	
松永時子	
松村望東美	
丸山美奈子	
三浦一男	
三浦嗣男	
水川美代子	_
光岡孝志	_

光畑俊行
三宅邦子
三宅洋子
六野和也
村上章子
守安直美
八代武利
安信政男
矢野有哉
矢延文夫
山﨑真男
山﨑資司
山田成一
山水祐喜子
山本賢昌
和田昌郎
渡辺節生

以上の他に匿名希望 93 名、合計 203 名です。

賛助会員 【団体】

休式会任		Ţ	1	スフ 1	_	_
十层占	T 1	1. 7	フ	ベンデ	,	`

大塚ウエルネスベンディング 株式会社 関西支所広島営業所

株式会社 大手饅頭伊部屋

岡山医療生活協同組合

岡山県貨物運送 株式会社

公益社団法人 岡山県看護協会

一般社団法人 岡山県損害保険代理業協会

岡山市連合婦人会

おかやま信用金庫

医療法人社団 操仁会 岡山第一病院

岡山トヨペット 株式会社

社会福祉法人 岡山博愛会

株式会社 岡山マツダ

オリエンタルフォレスト治療院

極光冷電 株式会社

一般財団法人 倉敷成人病センター

クラブン 株式会社

株式会社 廣栄堂

岡南ギャラリー 有限会社

有限会社岡北ヤマカワ

サンコー印刷 株式会社

山陽事務機株式会社

株式会社 山陽新聞社

株式会社 サンラヴィアン

公益財団法人 慈圭会 慈圭病院

医療法人清水レディス・クリニック

新和建材 株式会社

株式会社 セキュリティハウス

総社花萬 株式会社

株式会社 中国銀行

有限会社 土屋コンピューター会計

株式会社 トマト銀行

株式会社 トンボ

ナカシマプロペラ 株式会社

中谷興運 株式会社

医療法人 なかの歯科クリニック

ネッツトヨタ山陽 株式会社

株式会社 バーズコミュニケーション

株式会社 馬場総合鑑定所

備北信用金庫

岡山市久米南町組合立国民健康保険 福渡病院

更生保護法人 備作恵済会 古松園

有限会社 フレイズ

医療法人社団 明和会 ペリネイト母と子の病院

三井住友海上火災保険 株式会社 岡山支店

みのるホテル事業 株式会社 (後楽ホテル)

宮本法律事務所

株式会社 山田養蜂場

一般財団法人 共愛会 芳野病院

医療法人たくふう会 旭竜クリニック

有限会社 e.k コンサルタント

株式会社 TRANSITION

以上の他に匿名希望5団体、合計57団体です。

被害者支援員養成講座を受講してみませんか?

(被害者サポートセンターおかやま《VSCO》主催)

被害者サポートセンターおかやま(VSCO) は、犯罪による被害者や、その家族・遺族の 方に対して、電話・面接相談、警察・検察庁・裁 判所、医療機関、行政へ付き添うなどの支援 を行っています。

2017年度の支援員養成講座を開催し、支援 員(第13期生)を募集します。

VSCOの判断により、受講をお断りすることが あります。

「人間として被害者をほっておけないと考 える感性が豊かな方」の応募を期待します。

【募集資格】

- ★ 被害者支援の活動に参加できる方
- ★ 被害者支援について学びたい方
- ★ 職務上、被害者支援について学ぶ必要 のある方
- ★ 被害者支援ボランティアとして活動したい 大学生(基礎講座のみ)

【会場】 きらめきプラザ (岡山市北区南方)

被害者支撑员基本特定

(基礎講座のひとこまです)

相談・支援は無料 秘密厳守

犯罪被害相談電話 086-223-5562

月~土 10 時~16 時

性犯罪被害専用電話

086-206-7511 月~金 10 時~21 時 土 10 時~16 時

(ただし、祝日及び年末年始を除きます)

基礎講座

定 員 30名 講座回数 6回

資料代 6.000円(初回一括・ただし大学生は無料)

申込締め切り 平成29年5月10日(水)申込用紙は下記サイトから

1回 5月20日(土) 開講式、被害者の声、支援員としての体験から、被害者支援の歴史、VSCOの活動内容等

2回 5.6月中 刑事裁判の傍聴と解説

3回 6月 3日(土) 交通事故被害者のサポート、悪徳商法など消費者被害について

4回 6月17日(土) 性犯罪被害者のサポート、ストーカー被害者のサポート

5回 7月 1日(土) 児童相談所の働き、経済的被害の回復について

6回 7月15日(土) 最愛の家族の命を奪われた遺族の立場から、閉講式

基礎講座修了者(原則皆勤の方)の中から希望で(審査あり)



中級講座

定 員 20名 講座回数 6回

資料代 6,000円(初回一括)

1回 7月29日(土) 開講式、特別講演「支援者のストレスとサポート」、自分自身を知りましょう

8月26日(十) 電話相談の基礎 20

9月16日(土) 電話相談の実際

9.10月中 4回 検察庁見学

5回 9月30日(土) 直接支援の実際(1) 6回 10月 7日(土) 直接支援の実際(2)・(3)、閉講式

本人の希望と面接、VSCOの審査



被害者支援補助員として登録

~詳しくは、VSCOホームページをご覧ください~

VSCOおかやま



岡山県公安委員会指定犯罪被害者等早期援助団体 全国被害者支援ネットワーク加盟・民間支援団体

公益社団法人被害者サポートセンターおかやま

(ÝŚĆŌ)

〒700-0818 岡山市北区蕃山町1-20

岡山県開発公社ビル1階

E-mail

(086)223-5564 電話 FAX(086)201-5564

